

宝塚市立幼稚園の適正規模及び 適正配置に関する基本方針 ～ 説明会 ～

平成28年(2016年)7月30日(土)

10時00分～11時30分

東公民館

13時00分～14時30分

西公民館

基本方針の策定に当たって

【本市の現状と課題】

市立幼稚園の園児数の減少

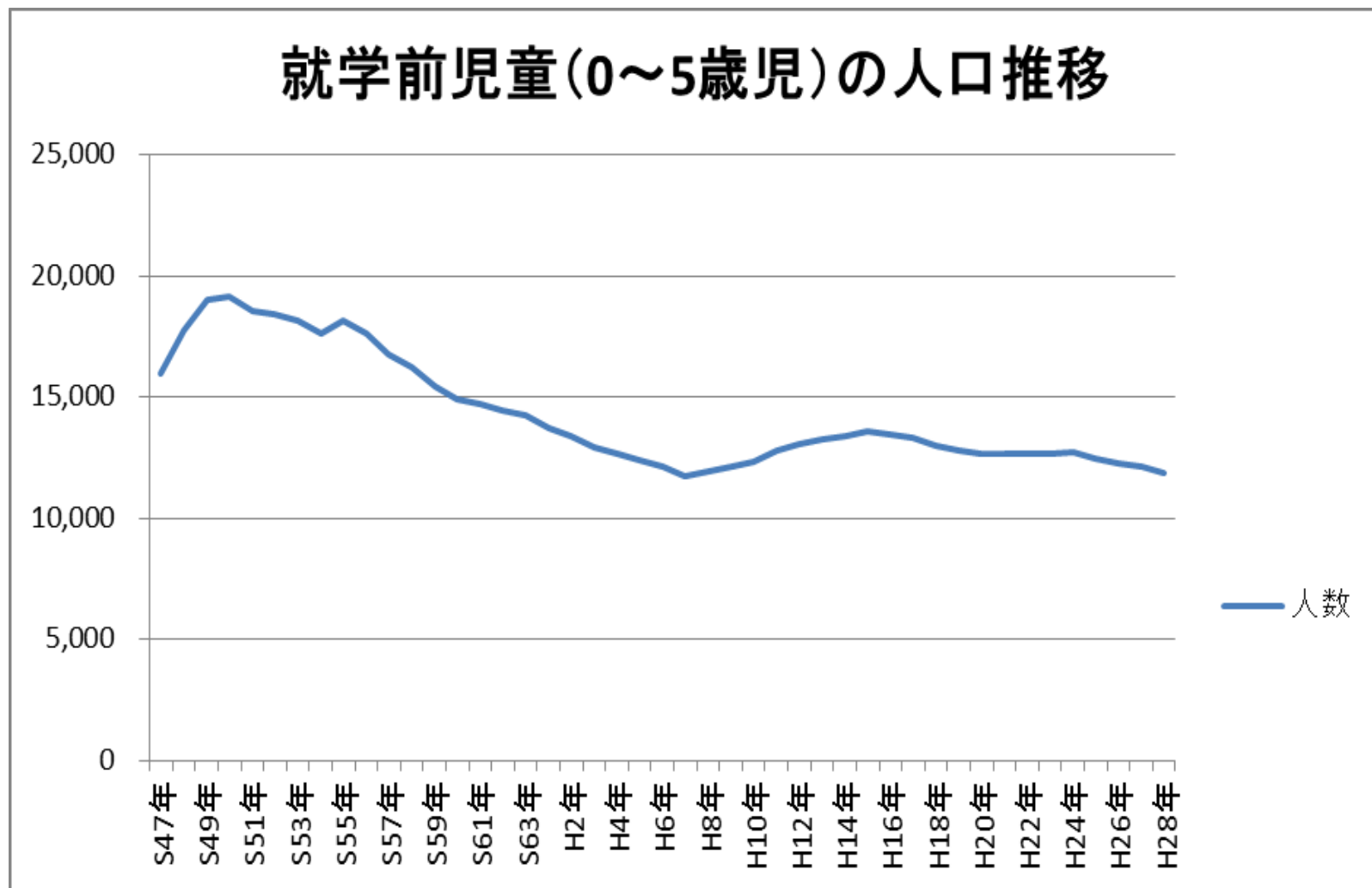
⇒園児数の減少

平成17年度 1,383人 → 平成27年度 936人

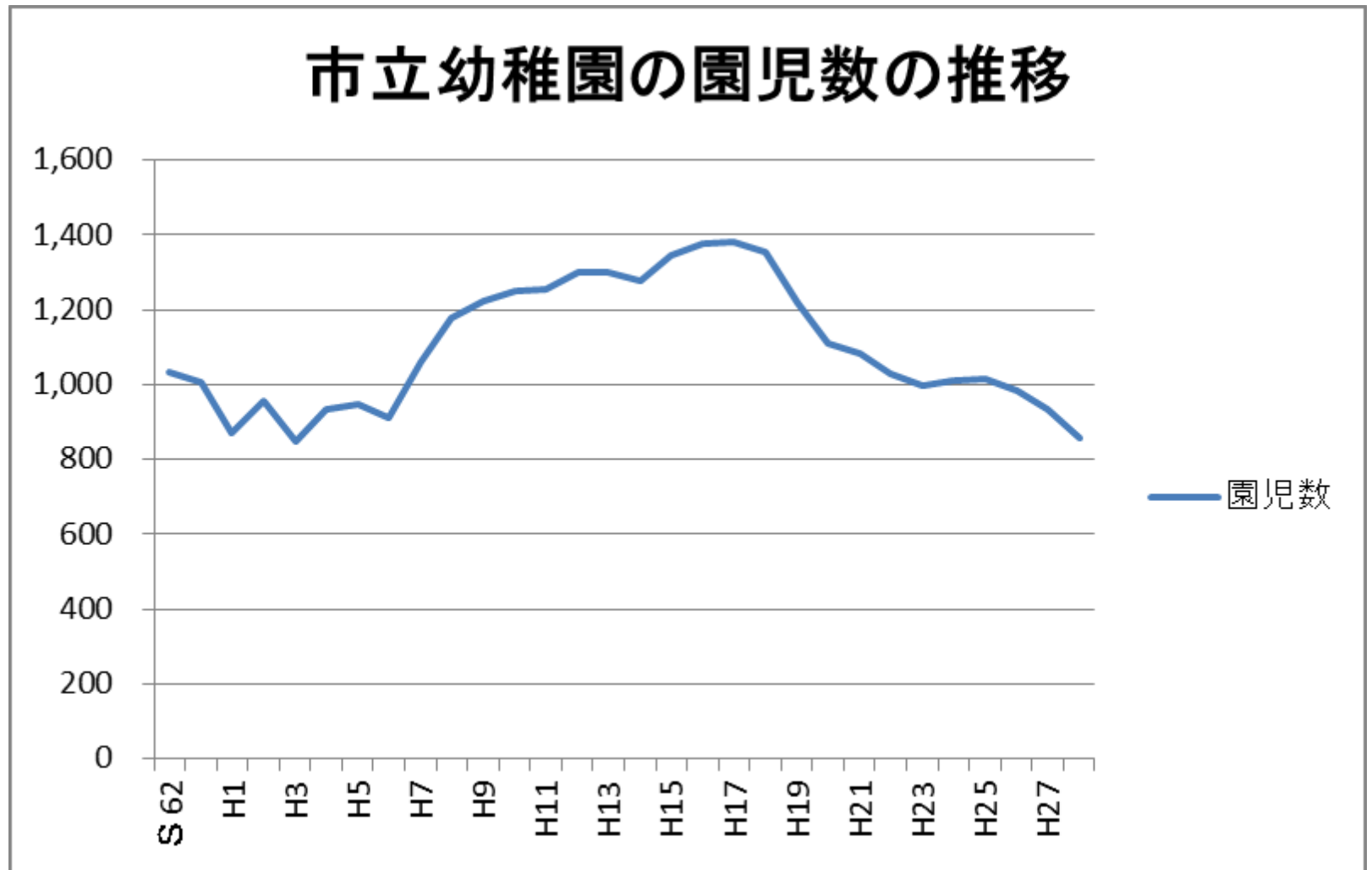
☆原因

- ①幼児人口の減少
- ②保護者の就労状況の変化

宝塚市の就学前児童の人口推移

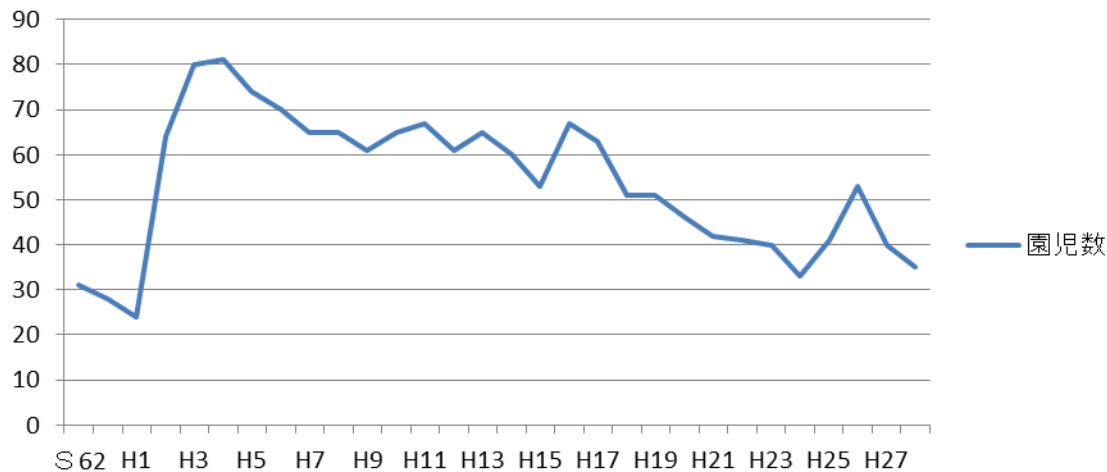


市立幼稚園の園児数の推移

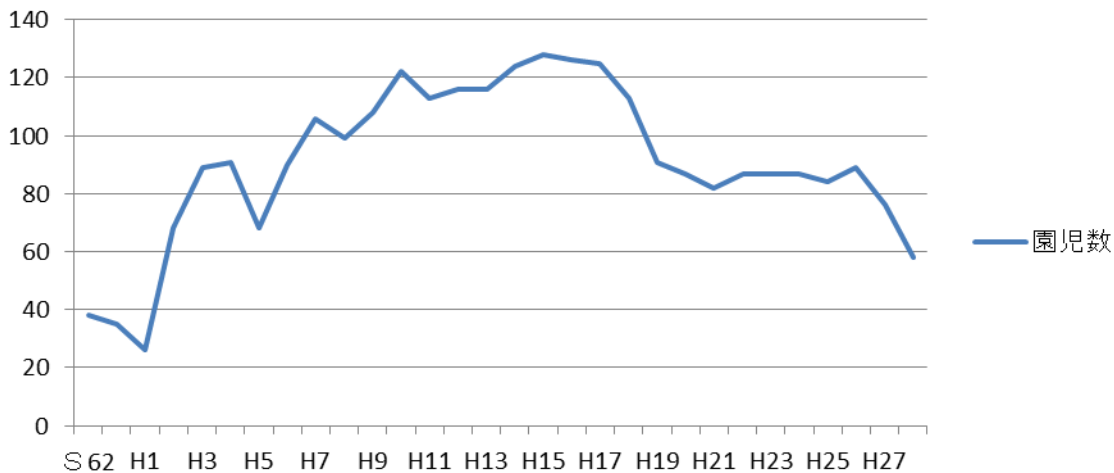


各園の園児数の推移

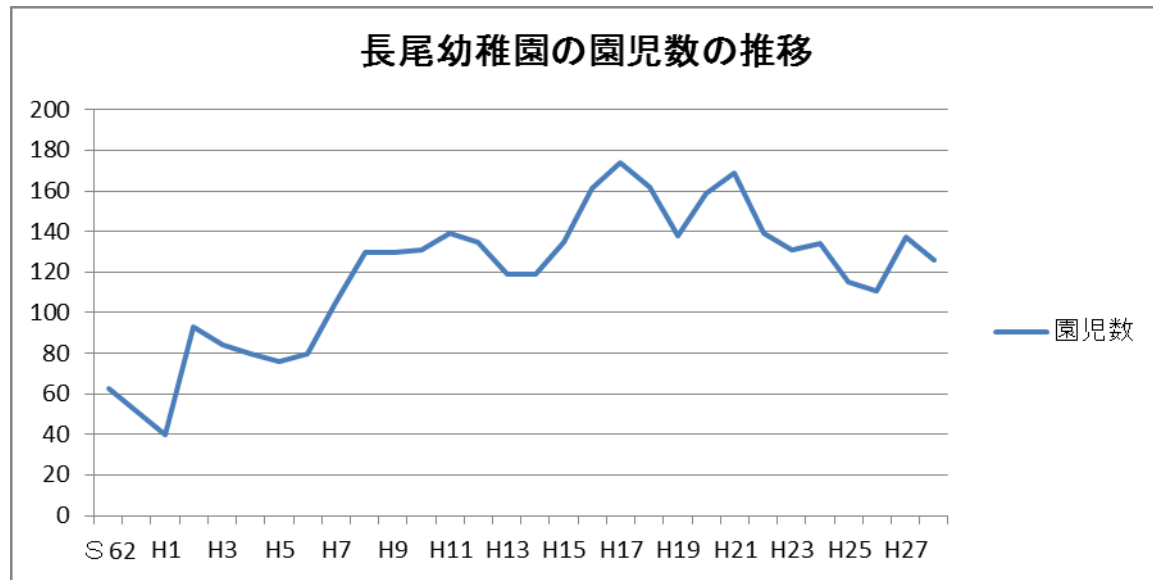
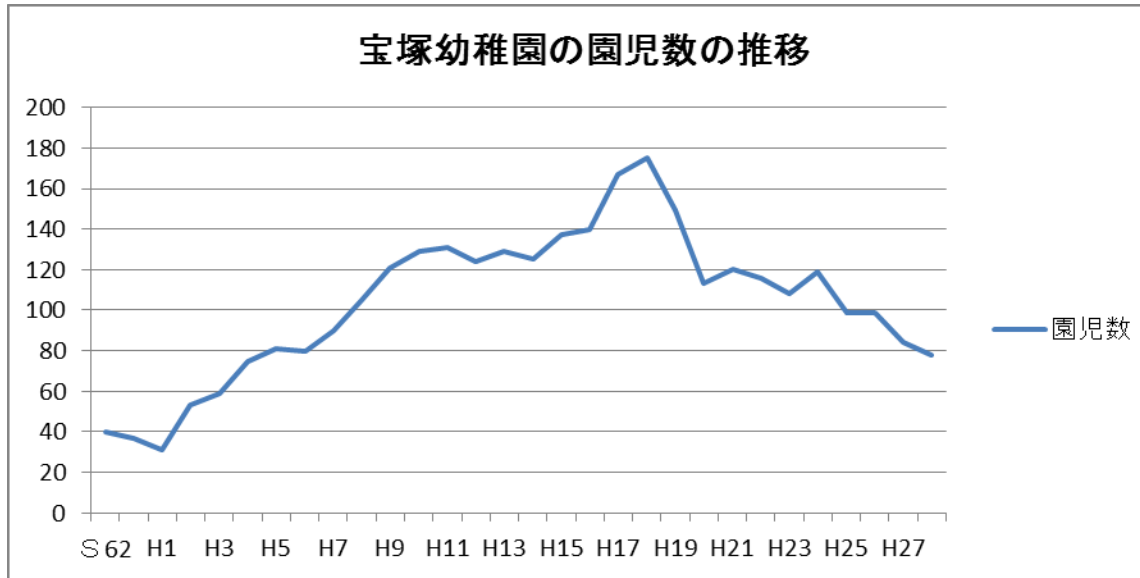
良元幼稚園の園児数の推移



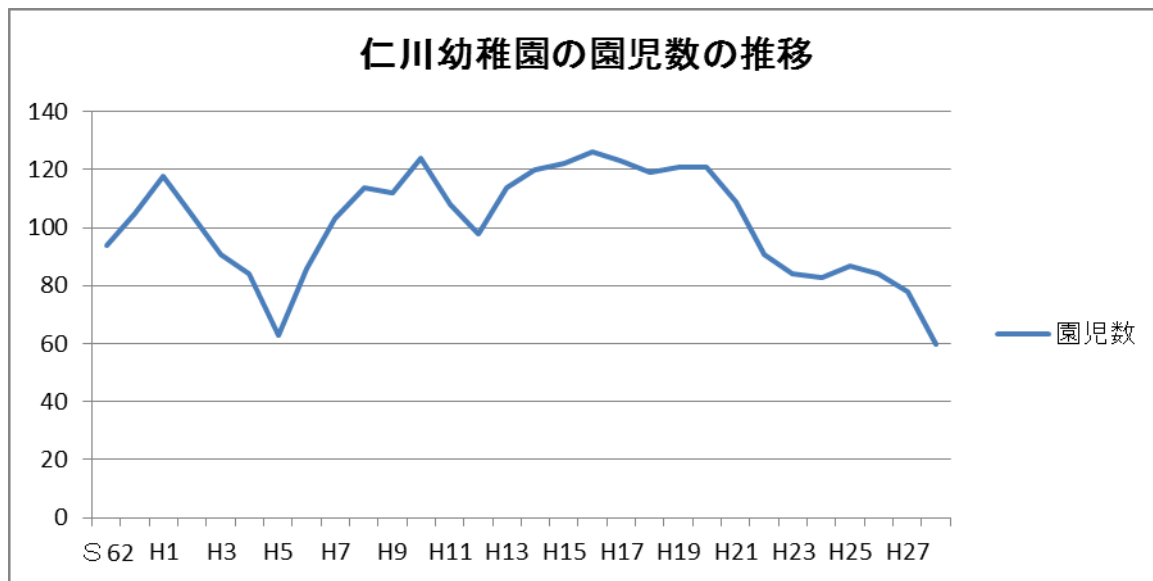
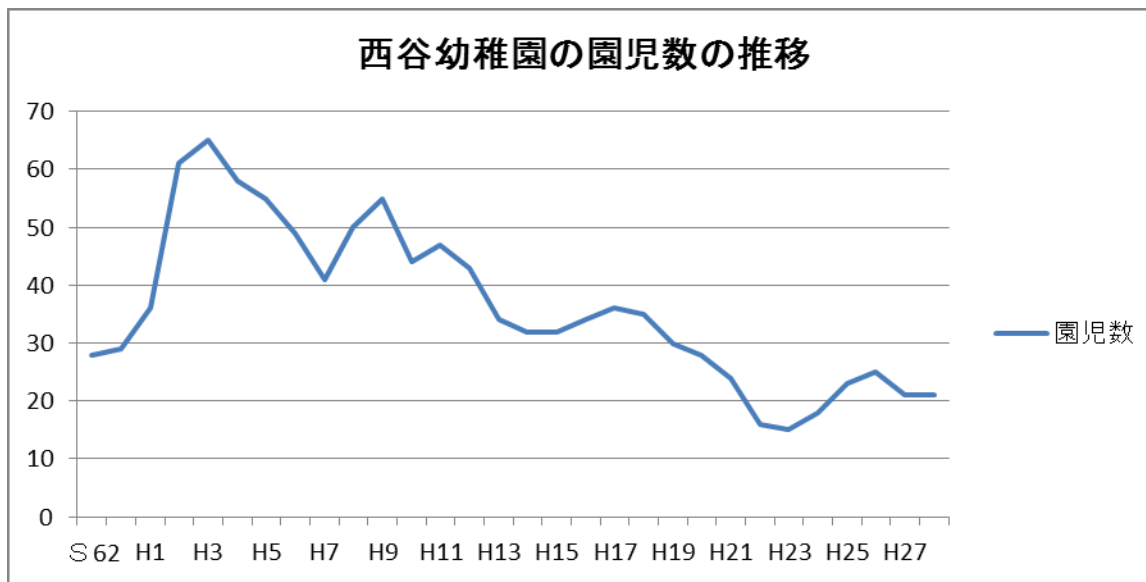
小浜幼稚園の園児数の推移



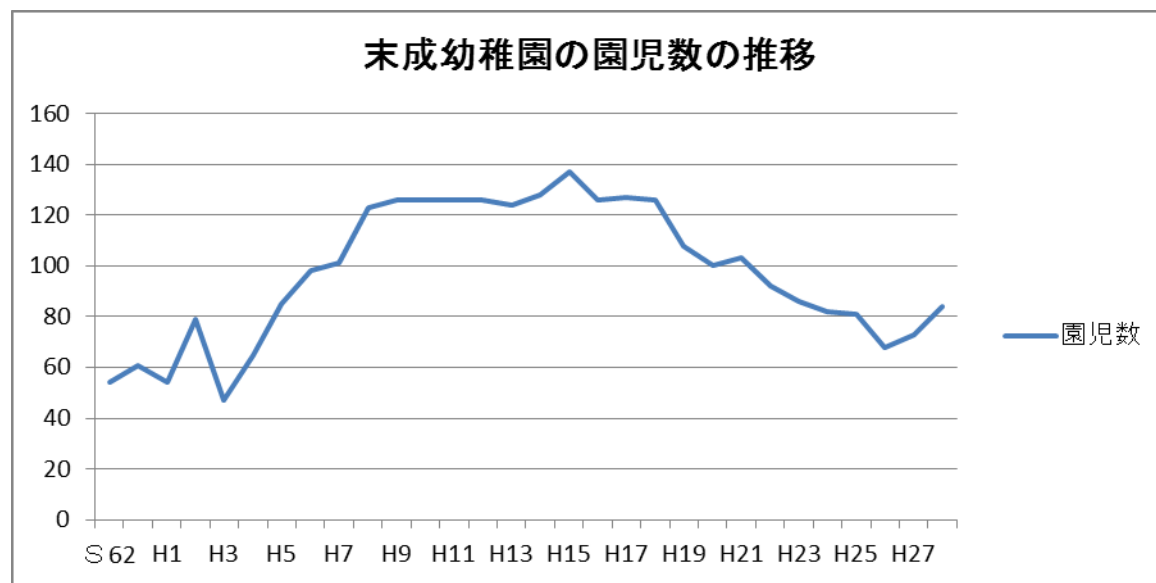
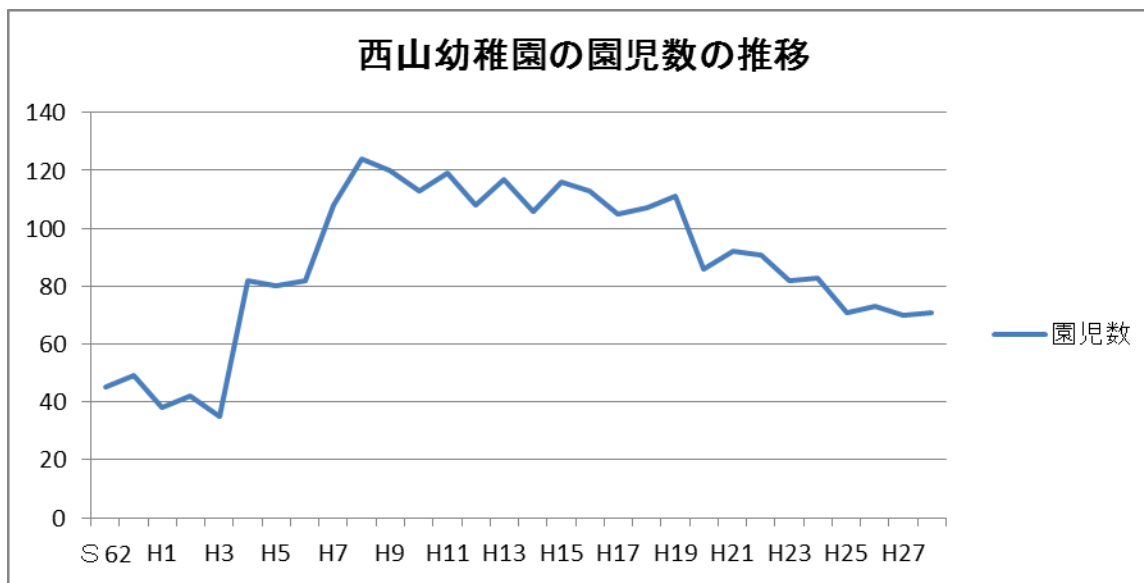
各園の園児数の推移



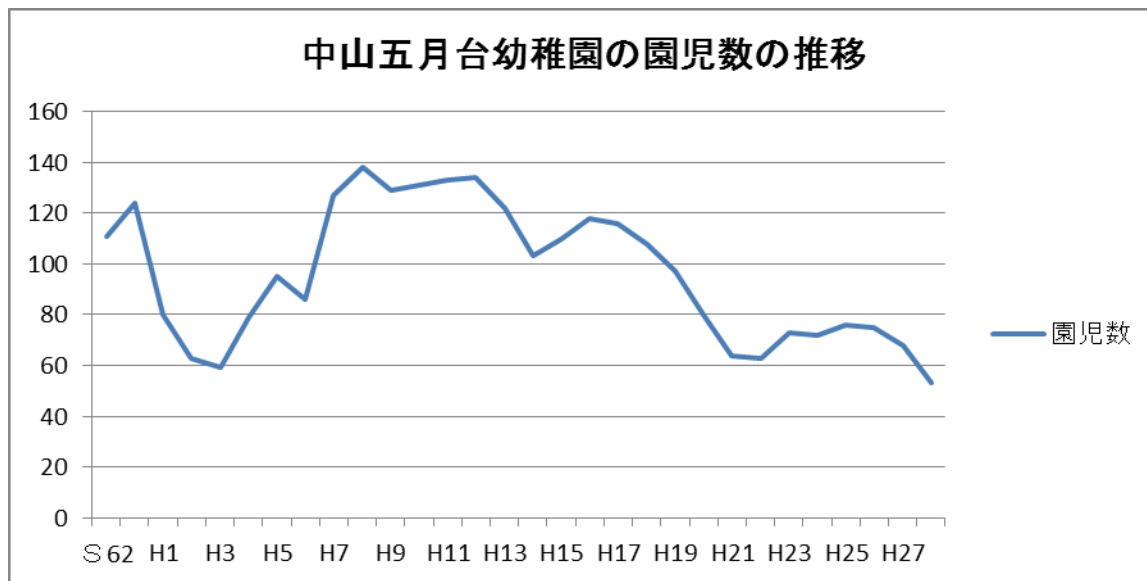
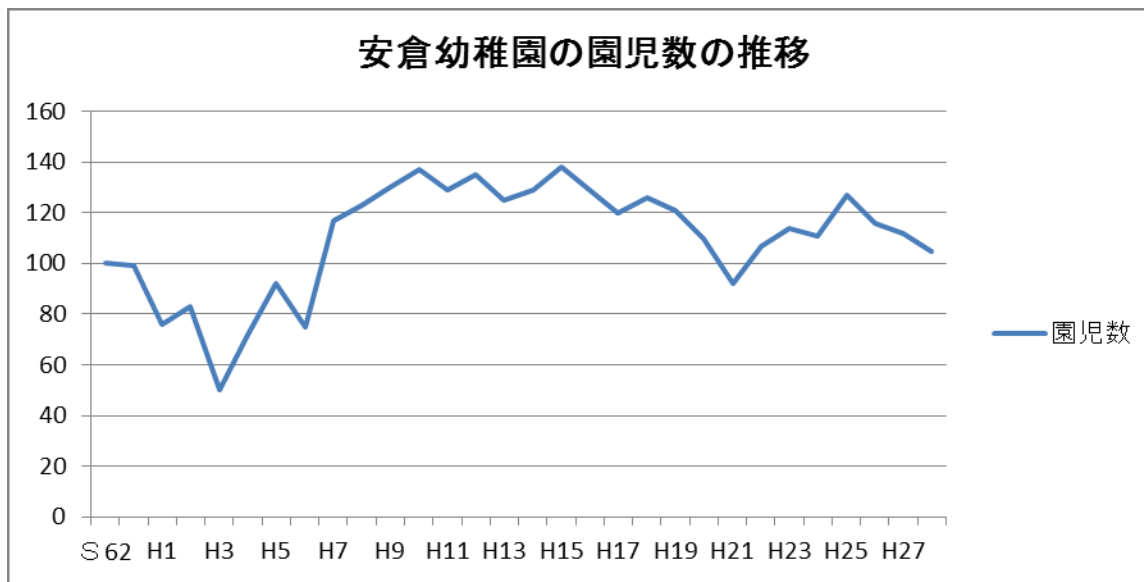
各園の園児数の推移



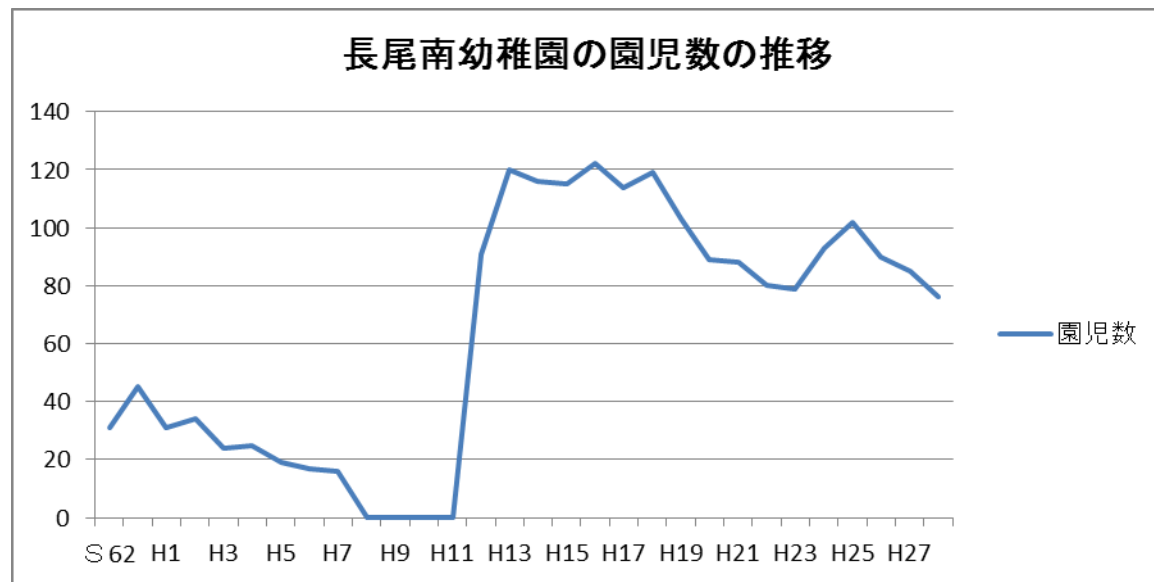
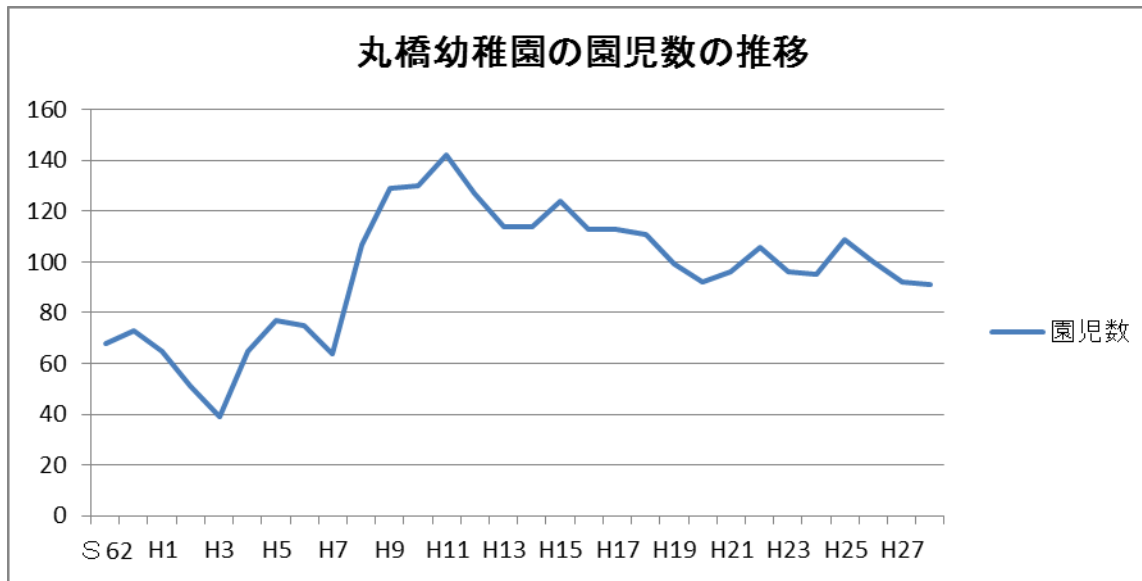
各園の園児数の推移



各園の園児数の推移



各園の園児数の推移



市立幼稚園の園児数

平成28年5月1日現在

幼稚園名	3歳児		4歳児		5歳児		合計		最大受入		充足率
	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	
良元幼稚園			1	22	1	13	2	35	4	130	26.9%
小浜幼稚園			1	23	1	35	2	58	4	130	44.6%
宝塚幼稚園			2	41	2	37	4	78	4	130	60.0%
長尾幼稚園			2	50	3	76	5	126	7	225	56.0%
西谷幼稚園	1	10	1	2	1	8	3	20	3	85	23.5%
仁川幼稚園			1	23	2	37	3	60	5	160	37.5%
西山幼稚園			2	33	2	38	4	71	4	130	54.6%
未成幼稚園			2	36	2	48	4	84	4	130	64.6%
安倉幼稚園			2	49	2	56	4	105	4	130	80.8%
中山五月台幼稚園			1	27	1	26	2	53	4	130	40.8%
丸橋幼稚園			2	47	2	44	4	91	4	130	70.0%
長尾南幼稚園			2	36	2	40	4	76	4	130	58.5%
計	1	10	19	389	21	458	41	857	51	1,640	52.3%

就学前児童の動向（3歳児）

年度	住民基本台帳 上の幼児数	公立幼稚園		私立幼稚園		公私立保育所		合計	
		就園児数	就園率	就園児数	就園率	入所者数	入所率	就園児数	就園率
H2	2,218	—	—	380	17.1%	258	11.6%	638	28.8%
H4	2,193	—	—	508	23.2%	261	11.9%	769	35.1%
H6	1,948	—	—	480	24.6%	249	12.8%	729	37.4%
H8	1,972	—	—	557	28.2%	259	13.1%	816	41.4%
H10	2,173	—	—	635	29.2%	280	12.9%	915	42.1%
H12	2,116	—	—	621	29.3%	324	15.3%	945	44.7%
H14	2,316	—	—	695	30.0%	405	17.5%	1,100	47.5%
H16	2,303	—	—	738	32.0%	436	18.9%	1,174	51.0%
H18	2,211	—	—	748	33.8%	504	22.8%	1,252	56.6%
H20	2,112	—	—	810	38.4%	415	19.6%	1,225	58.0%
H22	2,276	—	—	830	36.5%	557	24.5%	1,387	60.9%
H24	2,138	—	—	847	39.6%	524	24.5%	1,371	64.1%
H26	2,088	8	0.4%	829	39.7%	638	30.6%	1,475	70.6%
H28	1,976	10	0.5%	812	41.1%	634	32.1%	1,456	73.7%

就学前児童の動向（4歳児）

年度	住民基本台帳 上の幼児数	公立幼稚園		私立幼稚園		公私立保育所		合計	
		就園児数	就園率	就園児数	就園率	入所者数	入所率	就園児数	就園率
H2	2,309	174	7.5%	1,362	59.0%	287	12.4%	1,823	79.0%
H4	2,187	327	15.0%	1,303	59.6%	274	12.5%	1,904	87.1%
H6	1,948	321	16.5%	1,145	58.8%	277	14.2%	1,743	89.5%
H8	1,956	563	28.8%	1,037	53.0%	277	14.2%	1,877	96.0%
H10	2,042	586	28.7%	1,091	53.4%	291	14.3%	1,968	96.4%
H12	2,111	629	29.8%	1,112	52.7%	331	15.7%	2,072	98.2%
H14	2,209	608	27.5%	1,108	50.2%	413	18.7%	2,129	96.4%
H16	2,350	657	28.0%	1,114	47.4%	470	20.0%	2,241	95.4%
H18	2,270	639	28.1%	1,045	46.0%	501	22.1%	2,185	96.3%
H20	2,222	537	24.2%	1,095	49.3%	478	21.5%	2,110	95.0%
H22	2,038	468	23.0%	989	48.5%	516	25.3%	1,973	96.8%
H24	2,170	466	21.5%	1,058	48.8%	531	24.5%	2,055	94.7%
H26	2,188	465	21.3%	1,034	47.3%	592	27.1%	2,091	95.6%
H28	2,039	389	19.1%	922	45.2%	620	30.4%	1,931	94.7%

就学前児童の動向（5歳児）

年度	住民基本台帳上の幼児数	公立幼稚園		私立幼稚園		公私立保育所		合計	
		就園児数	就園率	就園児数	就園率	入所者数	入所率	就園児数	就園率
H2	2,447	781	31.9%	1,365	55.8%	285	11.6%	2,431	99.3%
H4	2,210	608	27.5%	1,317	59.6%	281	12.7%	2,206	99.8%
H6	2,141	590	27.6%	1,263	59.0%	273	12.8%	2,126	99.3%
H8	1,940	615	31.7%	1,047	54.0%	245	12.6%	1,907	98.3%
H10	2,001	666	33.3%	1,034	51.7%	296	14.8%	1,996	99.8%
H12	2,180	669	30.7%	1,151	52.8%	331	15.2%	2,151	98.7%
H14	2,131	671	31.5%	1,076	50.5%	382	17.9%	2,129	99.9%
H16	2,312	712	30.8%	1,123	48.6%	446	19.3%	2,281	98.7%
H18	2,327	713	30.6%	1,088	46.8%	491	21.1%	2,292	98.5%
H20	2,189	574	26.2%	1,072	49.0%	466	21.3%	2,112	96.5%
H22	2,151	561	26.1%	1,068	49.7%	470	21.9%	2,099	97.6%
H24	2,313	544	23.5%	1,144	49.5%	537	23.2%	2,225	96.2%
H26	2,148	510	23.7%	1,000	46.6%	590	27.5%	2,100	97.8%
H28	2,128	458	21.5%	937	44.0%	634	29.8%	2,029	95.3%

適正規模・適正配置の検討

●宝塚市幼稚園教育審議会（平成26年度）

- ① 1学級の園児数⇒20人程度
- ② 1学年の学級数⇒複数学級
- ③ 全市的なバランスの良い施設配置

この他、3年の実施や幼児教育センターの設置についても、具体的に検討するよう答申を受けた。

1 学級当たりの望ましい園児数及び 1 学年当たりの望ましい学級数

歳児（学年）	1 学級当たりの望ましい園児数	1 学年当たりの望ましい学級数
3 歳 児 （3 年保育）	15人～20人	単学級
4 歳 児 （2 年保育）	20人～30人	複数学級
5 歳 児 （1 年保育）	20人～35人	複数学級

適正配置の考え方

●宝塚市幼稚園教育審議会

答申抜粋

「全ての地域の子どもたちに、等しく、望ましい幼児教育を行う観点からも、一定距離の範囲内に公立幼稚園が配置されていることが望ましい・・・」



現行の12園から7園とする。

適正規模・適正配置の進め方

①小規模化が著しい園

早期に統廃合を進めるよう計画を策定する。

②待機児童対策のために復園した園

近隣幼稚園の施設充足率や必要性を踏まえて計画を策定する。

③園児数の減少に応じて取り組む園

適正規模の範囲を一定期間、継続して下回る場合は、適正配置の視点を踏まえ、計画を策定する。

今後の就学前教育の充実

①公立幼稚園における3年保育の実施
施設設備の整っている園での3年保育の実施

②幼児教育センターの設置



全市的な幼児教育の充実

この他に

●基本方針の点検・見直し

5年後を目途に、今後の園児数の減少状況を見極めながら、本基本方針の点検を行い、必要に応じて見直しを行う。

●公共施設マネジメントとの関係

公共施設の効果的かつ効率的な維持管理の実施による長寿命化や施設保有量の最適化など、保有する公共施設を資産として最適に維持管理し、有効活用を図る取り組みを全庁的に推進する。

パブリック・コメント

【基本方針全体】

- ①園児数や学級数だけで判断するのではなく、公立幼稚園の存在意義も含めて検討してほしい。
- ②住んでいる地域で幼稚園に通えることができ、子育てが出来る環境を守ってほしい。

【距離的な問題】

- ①自宅から徒歩で通園できる公立幼稚園がなくなる。
- ②代替手段として、通園バスを走らせてほしい。

パブリック・コメント

【経済的な負担の軽減】

私立幼稚園は、入園料や保育料が高い。公立幼稚園がなくなると経済的な負担が大きくなり、中には私立幼稚園には通えない幼児も出てくる。

【まちづくりの視点から】

中山台地区から公立幼稚園がなくなると、若年世帯の住めない地域となり、一層、高齢化が進む街になる。

パブリック・コメント

【公立幼稚園の立地状況の考慮】

中山五月台幼稚園は、自然豊かで、他の公立幼稚園にはない地理的環境や立地条件が良いので、こうした環境も考慮してほしい。

【ご要望】

- 公立幼稚園の認定こども園化
- 公立幼稚園でも3年保育の実施



質

疑



ありがとうございました。

宝塚市教育委員会